岡本さん全国医療功労賞

元県作業療法士会長　リハビリに尽力

岡本宏二さん

地域医療や保健福祉に長年尽力した人に贈られる「第51回医療功労賞」の中央（全国）表彰受賞者に、元県作業療法士会長の岡本宏二さん(62)＝郡山市、ふくしまをリハビリで元気にする会理事長＝が選ばれた。中央表彰を受けるのは、岡本さんを含めて10人。表彰式は24日、東京都内で行われる。読売新聞社の主催。

岡本さんは医療功労賞の東北地方表彰を受け中央表彰の審査対象となった。19日までに開かれた中央選考委員会で受賞が決まった。

岡本さんは作業療法士として、県内の病院で病気やけがをした人たちのリハビリを長年担ってきた。東日本大震災後の2012（平成24）年には「ふくしまをリハビリで元気にする会」を発足させた。

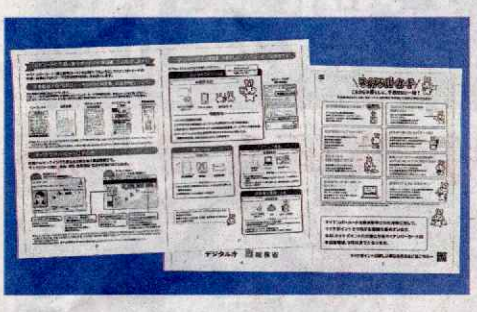
東京電力福島第1原発事故の影響で屋外での遊びが制限された中、県内各地の体育館などを利用して発達障害児らに屋内での遊びを提供する「あしかの遊びの会」の活動を続け、子どもたちの健全育成に貢献してきた。

中央表彰の受賞が決まったことを受け、岡本さんは「大変名誉なことでうれしい」と喜びを語った。あしかの遊びの会の活動に触れ「ボランティアの仲間たちと手作りで頑張ってきた。（中央表彰が）これからの励みになる」と述べた。

医療功労賞は、困難な環境の下で地域住民の健康増進などのために働く医療従事者をたたえている。

学校でマイナ普及要請

政府、昨夏　都道府県教委に文書


▲政府が出したマイナンバーカードの普及促進を求める文書に添付されたチラシ

政府が都道府県教育委員会に対し、マイナンバーカードの申請などに関する情報を学校現場で児童や生徒らに提供し、普及促進に協力するよう呼びかける文書を昨夏配布していたことが19日分かった。マイナカードを今年3月末までに「ほぼ全国民に行き渡らせる」とする政府目標の実現に向けた施策の一環だ。

文部科学省は「強制力はない」と説明している。だがマイナカードと学校教育は直接的には関係がなく、専門家からは「学校が政策の広報機関になりかねない」といった指摘が上がっている。

デジタル庁と総務省は2022年7月11日付で「マイナンバーカードの普及促進に向けたお願いについて」と題した文書を文科省

情報提供方法に注意

実原隆志福岡大教授（憲法）の話　政府の取り組みを知ることは必要であり、学校現場で政策に関する情報提供をすること自体に問題はない。ただ学校現場での情報提供の方法には注意が必要となる。特に児童や生徒

浪江「磐城壽」の新酒

先行予約を開始

浪江町の鈴木酒造店は19日、浪江産の酒造好適米「福乃香」で造った「磐城壽（いわきことぶき）」の新酒を発表した。東日本大震災前にあった請戸地区の蔵の酵母を使って醸したクラシカルスタイル「浪」と、県推奨の醸造法を取り入れたモダンスタイル「江」の2種類で、先行予約を開始した。実際の販売は今月末になる見通し。

「福乃香」使用、スタイル2種